

令和5年9月期 横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のトピックス》

- 腸管出血性大腸菌感染症の報告数が多くなっています。食品は加熱処理し、食事の前などにはしっかり手を洗いましょう。
- 新型コロナウイルス感染症は幅広い年齢層で患者が発生しており、今後も注意が必要です。
- インフルエンザは、例年の同時期と比較して患者が多くなっています。
- 20歳代～50歳代を中心として梅毒が多く発生しており、注意が必要です。妊婦の報告もみられます。

◇ 全数把握の対象

<9月期に報告された全数把握疾患>

腸管出血性大腸菌感染症	29件	クロイツフェルト・ヤコブ病	2件
デング熱	1件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2件
レジオネラ症	5件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	1件
アメーバ赤痢	2件	侵襲性肺炎球菌感染症	5件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3件	梅毒	17件

- 1 **腸管出血性大腸菌感染症**:10歳未満～70歳代で、血清群O157が17件、O103が4件、O111が2件、O26が1件、O148が1件、O血清不明が4件です。経口感染と推定される報告が6件、接触感染と推定される報告が6件、感染経路等不明の報告が17件ありました。
- 2 **デング熱**:20歳代で、海外での蚊からの感染と推定されています。
- 3 **レジオネラ症**:80歳代～90歳代で、水系感染と推定される報告が2件、水系感染または塵埃感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が2件ありました。
- 4 **アメーバ赤痢**:いずれも50歳代で、経口感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件ありました。
- 5 **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:70歳代～80歳代で、いずれも感染経路等不明です。
- 6 **クロイツフェルト・ヤコブ病**:70歳代および80歳代で、いずれも古典的CJDです。
- 7 **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:40歳代および70歳代で、血清群はA群が1件、G群が1件です。創傷感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が1件ありました。
- 8 **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:30歳代で、性的接触(同性間)での感染と推定されています。
- 9 **侵襲性肺炎球菌感染症**:60歳代～80歳代(ワクチン接種歴無1件、不明4件)で、飛沫・飛沫核感染と推定される報告が2件、感染経路等不明の報告が3件ありました。
- 10 **梅毒**:20歳代～50歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期11件、早期顕症梅毒Ⅱ期1件、無症状病原体保有者5件です。性的接触による感染と推定される報告が15件(異性間12件、同性間1件、詳細不明2件)、感染経路等不明の報告が2件ありました。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。

横浜市衛生研究所ウェブページ

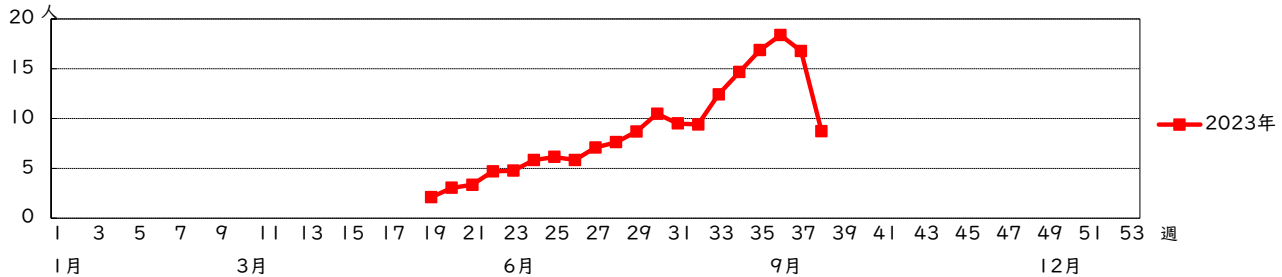
URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kenko-iryo/eiken/>

報告週対応表	
第35週	8月28日～9月3日
第36週	9月4日～9月10日
第37週	9月11日～9月17日
第38週	9月18日～9月24日

◇ 定点把握の対象

1 新型コロナウイルス感染症:

2023年5月8日(第19週)以降は定点報告となりました。第19週は2.10で、以降増加が続き、第35週16.86、第36週18.38、第37週16.78、第38週8.73と推移しています。

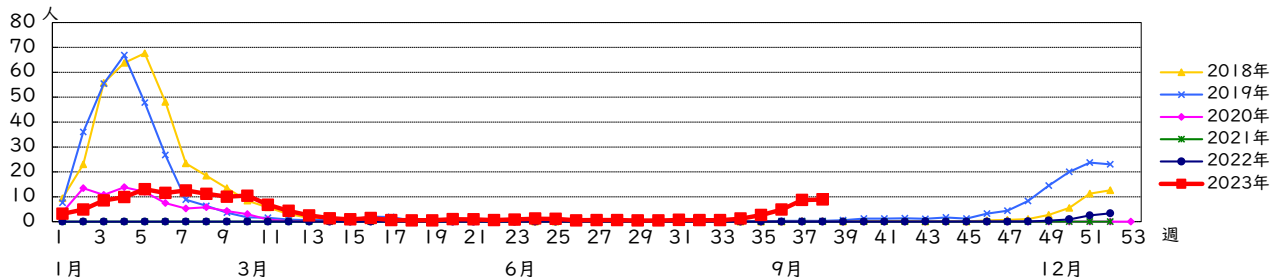


2 インフルエンザ:

2023年9月4日(第36週)より2023/2024シーズンに入りました。

第35週2.70、第36週4.91、第37週8.76、第38週8.97と増加しています。

第38週の市内迅速診断キットの結果は、A型760件、B型1件、A・B型ともに陽性2件と、A型が多く検出されています。(詳細は、横浜市インフルエンザ流行情報3号をご参照ください)



3 性感染症(8月)

性器クラミジア感染症	男性:30件	女性:12件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:11件	女性:10件
尖圭コンジローマ	男性:10件	女性:3件	淋菌感染症	男性:16件	女性:3件

4 基幹定点週報

	第35週	第36週	第37週	第38週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.50	0.00
無菌性髄膜炎	0.00	0.25	0.25	0.00
マイコプラズマ肺炎	0.25	0.25	0.00	0.25
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00

5 基幹定点月報(8月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	17件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	2件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-